

朝来市水道事業審議会 第1回 会議録

○ 開催日時 令和8年2月4日（水）9時30分から10時30分まで

○ 開催場所 朝来市役所本庁舎 4階 401・402 会議室

○ 出席者の氏名

	出席者	欠席者
委員	阿野 真由美	なし
	安保 敏之	
	勝山 清	
	衣川 浩二	
	木村 昭興	
	越前 昌己	
	島 裕幸	
	中西 光彦	
	西垣 恵	
	松原 朋恵	
	宮田 さと子	
事務局 (上下水道部上下水道課)	上下水道部長 佐野 正彦	なし
	上下水道課長 松尾 孝一	
	上下水道課主任 宮崎 省吾	
	上下水道課主任 木村 知晶	

○ 傍聴者 なし

○ 審議内容

1. 開会

定刻になったため、第1回朝来市水道事業審議会を開催。

本審議会定数11名のうち、開会時出席委員9名と過半数を超えており、水道事業審議会条例第6条第2項の開催要件を満たすため、会議の成立を報告。

また、朝来市附属機関等の会議の公開に関する規定第3条により、本審議会は、原則公開とし、会議録作成の為、録音することを報告。

委嘱状については、机上配布にて交付に代える。

2. 挨拶（市長より）

皆様には、このお忙しい中ご参集賜り、誠にありがとうございます。また、平素より、本市の市政運営につきまして、多大なるご理解とご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。このたび、朝来市水道事業審議会の委員をご依頼したところ、ご多用の中にもかかわりませず、快くお引き受けいただきありがとうございます。

当審議会におきましては、平成29年3月に策定した「朝来市水道事業基本計画“水道事業ビジョン 2016”」が10年を経過し、令和8年度末で終期を迎えております。人口減少の中で将来にわたって継続できるような施設の維持管理と安定した経営が行える計画を作っていかなければならないということでもあります。このようなことで令和9年度からの策定を目指しまして、皆様には2年間ということで大変お世話になりますが、審議会の運営について、御協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様ご存じのとおり、水道事業におきましては、全国的にも管路や施設の老朽化により道路の陥没事故や大規模な漏水の発生が課題となっており、この10年間で水道行政を取り巻く環境は大きく変化し、人口減少に伴う水需要の減少や、施設の老朽化などの状況は厳しさを増しております。本日ですが、今後10年間の水道事業の基本方針となります新たな「朝来市水道事業ビジョン」を策定するためにも、皆様それぞれのお立場での知識とご経験によるご意見を頂戴できればと思っております。

簡単ではございますが日ごろのお礼と今後の水道事業ビジョンの策定につきましてのお願いを申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 委員紹介（自己紹介）

各委員から自己紹介後、事務局職員から自己紹介。

4. 議事

(1) 正副会長の選任について

朝来市総合計画審議会条例第5条の規定により、会長及び副会長を委員の互選により決定することを事務局より説明。事務局から提案することになり、事務局から会長、副会長を指名する。

会長に福知山公立大学地域経営学部教授の木村委員、副会長に連合区長会会長の勝山委員を指名し、委員の挙手により承認を得る。

(2) 諮問

藤岡市長が諮問書を朗読した後、木村会長に手渡す。

以降、木村会長により議事進行。

(3) 朝来市水道事業ビジョンの概要について

事務局：資料により説明

松原委員：PFOS・PFOA が水道水で検出されたという問題で、環境省により令和8年度4月から50ng/Lという基準値で検査の義務化がされるが、外国では一桁台の基準値のところもある。朝来市では前の検査では基準値外ということで検出されなかったが、今後検出される可能性も考えて、これに係る施策を計画の中に入れていただき、水質を守ると示していただきたい。

事務局：貴重なご意見いただきありがとうございます。PFOS・PFOAについては令和8年度から水道法に定める水質基準となり検査義務化されるが、朝来市においては令和6年度から検査を実施している。その結果、検出できる定量下限値以下であった。PFASについては、国等において既に製造や輸入も禁止されており、今後増加することが限りなくゼロに近いと考えておりますが、国においても検査基準項目とされているため、引き続き検査を行い安全管理に務めていきます。

越前委員：理想像と目標設定の「安全」で、安全安心な水道水の供給を維持としか記載がなく、「強靱」と「持続」のほか二つと比べて具体的内容がアンバランスである。また、先ほどの事務局の回答にもあったが、PFASについては製造や輸入の禁止されており、自然界では増えるものではない

が、不法投棄とかそういった可能性があるため、水源の保全というものをに入れていただければ、モニタリングにもなり良いかと考える。また、強靱化のところ、何を想定して設定しているか、例えば南のほうでは南海トラフ地震が考えられるが、このあたりでは養父市に断層があるということで、これを想定して耐震化に取り組むというような整理の仕方がよいのではないかと考える。

事務局：貴重なご意見いただきありがとうございます。今後の計画の改定の中で取り入れられるよう検討させていただきます。

(4) 今後の進め方について

事務局：資料により説明

中西委員：第2回目の審議内容は現状の課題・評価となっているが SWOT 分析はされるか。収益の減少という弱みや 10 年前と比較して環境が変化していることから、SWOT や PEST があればわかりやすいのではないかと。

事務局：現計画を策定してから 10 年間の中で給水人口の減少や管路の老朽化等の課題が考えられるため、そのような弱みや環境変化について触れながら、次回の資料を作成していきます。

木村会長：必要な資料等あれば事務局で用意していきます。今回は初回ということで全体像の説明であったため、次回以降は詳細の説明を受けながら、専門的な知識をお持ちの皆様のご意見をいただき、審議を深めながら進めていければと考えております。

(5) 次回の会議について

次回の会議日程を連絡。

- ・第2回朝来市水道事業審議会 令和8年3月18日（水）開催予定

5. 閉会

議事が終了したため、事務局により第1回朝来市水道事業審議会を閉会。

以上